

human

No240

2012/4

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「さくら荘 梅の花」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711(代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8623
ヘルパーステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F) (080)5294-5728
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: info@ijinkai.or.jp

「わが闘争—マヒと戦い—」【第三】

大森 澄雄

足のリハビリは、ベッドの下の方に体全体をずらし、いい方の右足で悪い方の左足を掬ってベッドの鉄の枠の上に軽く落としたりして行った。Y先生が診察に来られ、私の姿を見て「もう少し体を上に上げたらどうですか」といわれた。今記したことをお話をすると、なる程と頷かれ、「頭に強い刺激を与えないようにやって下さい」といい残して立ち去られた。

入院十五日目の夕方、K先生がみえ、「ベッドから下りて床の上に立って下さい」といわれた。少し歩

いてみた。歩けた。先生は「危ない」といって、私を抱き止められた。とにかく私には歩くことの出来たことが、嬉しかった。

十六日目から、本格的なりハビリが始まった。初日はリハビリの室まで、車椅子で運ばれた。二日目には、車椅子を返上した。初日のリハビリの結果、平坦な所を歩く自信があったからである。代わりに晒しを一反買って来るようにとの達しがあった。どうするかと思っている。私の胸に巻き、家内と看護婦さんの二人でその端を持って、リハビリの室

までついて行くということだった。猿回しの猿のように我慢出来なかった。「猿じゃない。一人で行く」といったところ、「若しものことがあったら病院の責任になります。私のいうことを聞いて下さらなければ困ります」といって、看護婦さんは本当に困ったという貌をされた。私が応じなかったので、家内が「この人は一旦いい出したら、人のいうことを聞きません。病院の落度にはしませんから、この人のいうとおりにしてやって下さい」というと、看護婦さんは

やっと安心された。事故は、

もちろん起きなかった。リハビリの後も、自分の足で戻って来た。

病床での病人は些細なことでも、強気になったり、弱気になったりするものである。どちらかといえば、私は強気の方が多いが、漸くここまで回復したという状況判断から、油断することなく慎重に、かつ積極的に病気に立ち向かうことに決めた。

病室での朝は、殆ど毎日四時半に目が覚めた。覚めると間もなく朝食までの間、病院の廊下で歩行練習をした。朝食の時間と昼食の時間と昼寝の時間と夕食の時間と三十分間の読書の時間を除いて、リハビリの室とか病室とか廊下とかで夜の九時近

くまで専らリハビリに打ち込んだ。リハビリの先生からは「大森さんの一日は雀の一日と同じだね」といわれたことがある。

早期のリハビリは、自分でもびっくりする程の効果があった。当時のリハビリの先生は、理学療法士ではなく、全てがマッサージ師であった。リハビリの室に行くと、マッサージをしていた先生が患者にメニューを与え、マッサージをしながら見守るといふ方法であった。私は一度与えられたメニューは、いろいろと工夫してその日のうちに消化した。難しいメニューでも、三日も経てば消化出来た。与えられたメニューを消化すると、次のメニューが与えられた。消化が早いか遅いかで、ほとんど差がついた。六か月

間入院していても、マヒの殆ど取れていない人もあった。

病院の外の散歩を許されたのは、入院後四十日目ごろからであった。外の散歩で困ったことは、段差のある所は足が上がりず、前に足を出すことが出来ないことであった。そこで思い付いたのが、戦争中の中学校の軍事教練の時間に学んだ「歩調を取れ」の歩き方であった。病院の廊下で二三日練習して外へ出た。段差のある所も、いくらか歩きよくなっていた。最初の四五回の散歩は、看護婦さんや家内や娘に付き添ってもらったが、次第に一人で散歩するようになった。届け出が必要であったが、病院の前の道は、東は木津用水までしか出来ておらず、交通量も殆ど

なく、散歩には適した道であった。もちろん自損事故を覚悟して歩いたが、外を歩く人はみんな注意を払って歩いており、当時事故が起きたという話は聞いたことがない。退院が近くなったころには、少なくとも一日に三四キロの距離を歩いていた。

入院丁度五十日目に回診にみえたK先生に「いづごろ退院の許可が出来ますか」と尋ねたところ「今日でもいいですよ」という返事だった。しかし、急に退院して家に帰ってもとまどうばかりだと思い、約二週間延ばして貰った。翌日から一日置きに病院生活と家庭生活を交互に送り、家庭生活に十分に慣れ、入院以来六十五日ぶりに退院ということになった。一時は、左半身に

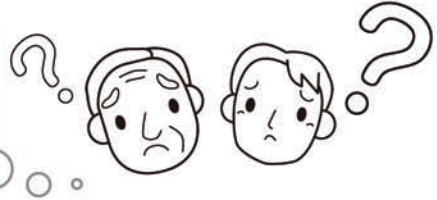
可成りのマヒがあったが、退院する時には、鎖骨と肩胛骨との間に少し残った位で、足は走れるまでに回復していた。入院当初に病院から貰った診断書には「安静療養九十日間」とあったが、極めて短期間の入院で済んだ。因に、私には運がついて回っていたようである。やることなすこと全てがいい方向に向かっていた。例えば当時作っていた俳句も、頭の回転を速めるのに大いに役立った。そして、いまでもなく運も不運も、多くは人が呼び寄せられるのだと私は心得ている。



抜け毛・薄毛気になりますか？

皮膚科 夏目 尚子

- Q1 家族に髪の薄い人はいますか？
 Q2 抜け毛が気になりますか？
 Q3 いつ頃から抜け始めましたか？
 Q4 どの部位から抜け始めましたか？
 Q5 髪の毛にハリがありますか？



男性型脱毛症いわゆる“若はげ”は思春期以降に前頭部と頭頂部の頭髮が軟毛化して細く短くなり、最終的には額の生え際が後退し頭頂部の頭髮がなくなってしまう現象です。日本人男性では20代で約10%、30代で20%、40代で30%、50代以降で40数%の発症頻度です。発症には遺伝と男性ホルモンが関与するといわれています。男性型脱毛症は何もしないでいると徐々に進んでしまうため、早めのケアが大切です。日本皮膚科学会の男性型脱毛症のガイドラインでも男性の男性型脱毛症に対して、ミノキシジル(リアップ®)の外用、フィナステリド(プロペシア®)の内服が強く推奨されている治療になっています。男性型脱毛症は自費の診療になりますが、フィナステリドの内服はひと月に約1万円の治療費となります。

- A1 両親、兄弟、祖父母に髪の薄い人がいる。
 A2 シャンプーやブラッシングしたときの抜け毛や、枕元に残った抜け毛が多く気になる。
 A3 思春期以降に抜け始め徐々に進行している。
 A4 額の生え際が後退、頭頂部が薄くなってきた。
 A5 細く、短い毛が多くなりハリ・コシが無くなった。



以上は男性型脱毛症の特徴です。男性型脱毛症以外にもいろいろな脱毛症もあり対処方法は異なりますが、上記の質問に当てはまる方、育毛剤を使っても薄毛が気になる方、進行する前に治療を始めたい方は、一度、皮膚科外来にご相談下さい。

第14回 「健康を守る教室」

テ マ：『めまいとふらつき パート2』～あなたのめまい教えます～
 & セラバンドを使用した体操

日 時：平成24年4月21日 土曜日
 13:00～14:00 (受付12:30～)

場 所：新館1F
 講 師：臨床検査技師 柏原 中條
 理学療法士 磯村

参加料：無料

お問い合わせ：受付窓口もしくは医療連携室 Tel 0587-95-0015

アンコールにお応えしてパート2を開催いたします。
 あなたのめまい・ふらつきは何が原因でしょうか？今回は症状の種類や検査結果によって導かれるその原因について詳しくご説明いたします。パート1に参加されていない方でもお役に立てる内容となっております。是非この機会にご参加下さい。



※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。
 ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

マンモグラフィについて

放射線科 苅谷 有希

平成24年1月より当院で放射線技師として勤務させて頂いております、苅谷有希と申します。

放射線技師という職種はレントゲン・CT・MRI・透視・血管撮影・骨密度など、様々な検査を行っています。その中でも女性放射線技師の活躍の場であるマンモグラフィについてお話したいと思います。

近年、日本人の乳がん罹患率が上昇しており、乳がん早期発見のための検診が重要視されています。私は女性の放射線技師として、皆さまに安心してマンモグラフィの検査を受けてもらい、乳がんの早期発見に努めたいと考え、検診マンモグラフィ撮影認定という資格を取得しました。この資格を取得するためには、マンモグラフィ撮影装置や周辺機器の精度管理、乳がんの病理、写真の読影などを学びます。もちろん、講習会ではポジショニングの練習もします。ポジショニングでは、マンモグラフィを受けたことがある方はご存じでしょうが、乳房をひっぱってできるだけ薄くのぼして圧迫していかなければなりません。乳房の中の乳腺という組織をできるだけ広げて撮影しないと病気が発見しにくくなってしまいます。個人によって痛みの感じ方は異なりますが、圧迫の際はやはり「痛い。」と言われることもあります。撮影する側としては「痛い。」と言われると心苦しい気持ちになりますが、できるだけ痛みが少ないように圧迫をして診断に有効な写真を撮影するように心がけています。乳がんは早期発見がとても重要です。検診をしていない方はぜひ検診を受けて下さい。

マンモグラフィだけでなく他の検査の際にも、「女性の放射線技師さんもいるんですね。放射線の検査は怖いイメージがあるけど、なんだか女性の方に検査してもらって安心して検査を受けられたわ。」と声をかけてくださることもあり、とてもうれしくなります。今後も安心して検査を受けてもらい、診断に有効な検査をしていくよう日々努めていきます。どうぞよろしく願いいたします。

ごあいさつ

居宅介護支援事業所 ケアマネジャー 鈴木 有也

さくら総合病院で働き始めてもうすぐ一年が経過しようとしています。私は昨年4月よりケアマネジャーとして勤務させて頂いております。

私がさくら総合病院でケアマネジャーとして働こうと考えた一番の理由は「病院」であるということにつきます。何年か前から医療と介護の連携というのは様々な場面で訴えられているテーマであります。実際には医療と介護はなかなか連携がとれていないというのが実情です。病院でケアマネジャーをやるということはもっとも効率よく連携をとっていくことができるということです。特にさくら総合病院は介護保険開始当初より積極的に介護サービスを始めており、現在では訪問介護・訪問看護・訪問リハビリ・デイケアセンター・居宅介護支援事業所・居宅療養管理指導とほぼすべての在宅サービスを展開しておりこれは尾北地区では随一の規模です。これらのサービスを病院を中心に連携して展開していけるということは非常に大きな強みです。事実この4月に施行される平成24年度診療報酬・介護報酬同時改定ではいたるところで医療と介護の連携が随所に盛り込まれました。今回の改正では、病気を発症した場合に今までの生活歴や病歴をケアマネジャーが病院に提供し、退院後の介護の方法・サービスなどについてケアマネジャー・病院・家族が連携していくことで在宅復帰を促進していくことに関して以前よりも多くの加算がつくようになりました。今までよりもより積極的に介護・医療の連携を進めていくことが我々ケアマネジャーの使命なのです。

医療法人である強み、また施設ではない・在宅としての住宅型有料老人ホーム太郎と花子を持つ強みを生かして、今後も積極的に多くの方々に関わっていきその人にとって最も良いプランを作成できるよう頑張っていきたいと思っております。

診療科表

平成24年4月1日現在

	午 前 9:00～12:00										午 後 5:00～7:30											
	消化器病 外傷 センター	循環器 呼吸器 総合内科 センター	運動器 形成 センター	脳卒中 脊椎 骨髄 センター	神経 糖尿病 感染症 センター	子ども 女性疾患 センター	ペイン クリニック センター	皮膚疾患 センター	耳・鼻・ 咽喉疾患 センター	腎尿路 疾患 センター	眼の 疾患 センター	消化器病 外傷 センター	循環器 呼吸器 総合内科 センター	運動器 形成 センター	脳卒中 脊椎 骨髄 センター	神経 糖尿病 感染症 センター	子ども 女性疾患 センター	ペイン クリニック センター	皮膚疾患 センター	耳・鼻・ 咽喉疾患 センター	腎尿路 疾患 センター	眼の 疾患 センター
月	○	○	○	○		○ 受付 11:45迄	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
火	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○		○ 9:00～ 11:45	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○ 受付 17:30～ 19:30	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○		○ 受付 11:30迄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
日	○	○	○	○		○*1																

- ※1 休診日もあります ※2 祝日の診療もあります(9:00～11:00)
- 診療時間に関しては、受診されます診療科目により異なります
- ご不明な点がございましたら、職員に確認してください
- 診療日が変わる場合があります ご了承ください

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)
 human ヒューマン さくら総合病院 発行年月日 2012年4月1日
 No.240 丹羽郡大口町新宮1-129 発行部数 350部